

令和6年度 第2回千葉市緑区公民館運営審議会議事要旨

- 1 日 時 令和7年3月19日(水) 午後2時～午後3時10分
- 2 場 所 千葉市誉田公民館 1階 講堂
- 3 出席者 委 員 10人
- | | | | |
|-------|---------|-------|----------|
| 遠藤 秀隆 | 委員(委員長) | 近藤 里子 | 委員(副委員長) |
| 石田 政充 | 委員 | 岡村 奈保 | 委員 |
| 尾上 直美 | 委員 | 北島 啓行 | 委員 |
| 櫛田 朱美 | 委員 | 久保 房代 | 委員 |
| 館野 和枝 | 委員 | 野崎 崇 | 委員 |
- 事務局 13人
- | | |
|-----------------|-----------------|
| 岩井課長補佐(生涯学習振興課) | 小林主任主事(生涯学習振興課) |
| 高本室長(公民館管理室) | 久保田主査(公民館管理室) |
| 金子主事(公民館管理室) | |
| 山下館長(誉田公民館) | 日高館長(椎名公民館) |
| 上野館長(土気公民館) | 熊野館長(越智公民館) |
| 古賀館長(おゆみ野公民館) | 島尾副館長(誉田公民館) |
| 滝事務員(誉田公民館) | 小川主事(誉田公民館) |

4 次 第

- (1) 開 会
- (2) 千葉市生涯学習振興課課長補佐挨拶
- (3) 議事
 - ① 報告事項
 - (ア) 令和6年度千葉市緑区公民館利用状況について(1月末現在)
 - ② 協議事項
 - (ア) 令和7年度千葉市緑区公民館事業計画(案)について
 - (イ) その他
- (4) その他
- (5) 閉 会

5 議事の概要

- (1) 報告事項
 - ア 令和6年度千葉市緑区公民館利用状況について(1月末現在)
令和6年度1月末現在の千葉市緑区各公民館の「開館日数」「利用者数」及び誉田公民館図書室、越智公民館図書室の「開館日数」「蔵書数」「登録者数」「貸出冊数」等について事務局(誉田公民館長)から報告した。
- (2) 協議事項
 - ア 令和7年度千葉市緑区公民館事業計画(案)について
千葉市緑区の各公民館主催事業計画(案)を事務局(各公民館館長・副

館長）から順次説明し、承認された。

6 質疑応答

(1) 報告事項

- ア 令和6年度千葉市緑区公民館利用状況について（1月末現在）
質疑等、特になし。

(2) 協議事項

- ア 令和7年度千葉市緑区公民館事業計画（案）について

岡村委員 事業の分類が、家庭教育、少年教育、成人教育等となっているが、少年教育は小学生が中心となるため、中学生や高校生、若者世代などが抜け落ちている感じがする。千葉市内の他の区で中学生や高校生、若者世代向けの講座を実施しているかどうか。今後、中学校の部活動が地域移行されたり、不登校の子供がいたりする中で、様々な選択肢があり、居場所づくりとして公民館の果たす役割が大切になると思われるが、そのような議論がされているのか。

山下館長 公民館で活動しているサークルで、中学校で生徒たちに教えることができるものがあるかどうか等、連絡をとり情報交換をしている。また、中学生は部活動もあるため、公民館の講座に参加することは小学生に比べると難しい状況である。他の区では、性教育に関する講座を学校の養護教諭と連携して行っている例もある。また、越智公民館や土気公民館のように、近隣の中学校とイベントを行って交流を深めているケースもある。出来る限り、学校との関わりを持っていく方向で取り組んでいる。子供たちの居場所づくりとしては、自習室やロビーなどを開放しているが、学習だけではなく行事の準備や話し合いなどに幅広い用途で利用してもらっており、少しでも公民館に足を運んでもらえるように努めている。

岡村委員 小中学生が大人と協力したり、関わったりできる講座やイベントを公民館で立ち上げてくれると嬉しい。

高本室長 千葉市の状況としては、例えば就職活動に向けた身だしなみ講座など、若者や大学生を対象とした講座を開いている公民館もある。地域性もあり稲毛区など大学が多い区だと、大学生に来てもらって講座を開くなど、大学との連携を深めている。

岡村委員 中高生などをスマートホン講座の講師にすることも可能と思う。子供たちが大人と関われるような講座をぜひ企画してほしい。

イ その他

櫛田委員 最近メールやラインなどでのトラブルも増えており、高齢者にとってはその対応が難しい。スマートホンの講座などで、その対策になる内容での講座を開いてもよいのではないかな。

山下館長 世の中の状況を見ながら、講座の内容を講師の方と相談しながら進めていきたい。

野崎委員 子供居場所づくりという点に置いて、自習室を利用させてもらったり、夏休みの子供講座に参加したりして、本校の子供たちは公民館をよく利用している。4月からの開館を楽しみにしている子供たちも多い。また、子供講座で人気のある講座は、抽選で外れると残念がっている子供もいるので、回数を増やしてもらえるとありがたい。今後も公民館と連携を深めていきたい。

館野委員 他の館（誉田公民館以外）での自習室の状況は、どのようなになっているか。

古賀館長 小学生から大学生を対象にして、部屋を決めて利用してもらっている。

熊野館長 ロビーや学習スペースを利用してもらっている。地域の小学生の人数が少ないため、他の公民館ほど利用者はいない。

上野館長 定期試験前には、中学生や高校生の試験勉強での利用がみられるが人数は多くない。下校途中の小学生が立ち寄ったり、下校後の子どもが来館してカードゲームをしたり、おしゃべりをしたりしている。また、小学生の自主的な取り組みとして、ごみ拾い活動の計画や振り返りの相談場所と使用していることもある。

日高館長 小学生が下校の際に立ち寄ることはほとんどない。土日や祝日の利用や高校生が学習の場として活用しているが人数は多くない。

館野委員 子供のころから公民館を利用したり、それが習慣化されたりすることが将来を考えた際に大切なことだと思っている。

久保委員 椎名公民館の建て替えが話題になっているが、どのような予定になっているか。また、講座の定員が超えた場合は、抽選になっているがどの公民館でも同様か。

山下館長 令和7・8年度が工事で、9年度に開館する予定である。
抽選に関しては、どの公民館でも同じように行っている。

久保委員 歌うことが高齢者にとって、脳トレになると言われているが、カラオケを利用した活動を考えた場合に、業者を呼んだり定期的に公民館を利用したりすることは可能かどうか。

山下館長 コンサート形式で、参加者と一緒に歌うようなイベントを開催しているケースがある。定期的に利用したい場合は、所定の手続きで団体登録をしてもらう必要がある。現在誉田公民館にはカラオケのサークルもあるので、興味のある方に紹介してほしい。

石田委員 現在、土気公民館で活動しているが、高齢化が進み今後どのようにメンバーを増やしていくかが課題である。また子ども館長のように、魅力のある講座を開催していくことが大切である。利用時間帯の区分が、午前・午後・夜間の三つになっているが、午後の部をさらに二つに分けると利用が増えるのではないかと思うがいかがか。

山下館長 規則で決まっているので、規則の改正が必要になる。市内では開館する際に、3分割以外で設定して開館した館もあるとは聞いている。

る。実際に午後を分割した場合に、例えば１４時から１６時で利用している団体もあり、利用団体の様々な意向を慎重に考えることが必要である。いただいたご意見を今後、教育委員会とも相談していきたい。

山下館長　土気公民館の子ども館長で活躍している児童が、プログラミングの全国大会で千葉県代表として出場している、また、誉田中学校を今春卒業した生徒が、最年少で簿記の検定に合格しており、地元に優秀な児童生徒がいるので、公民館の講座で講師として活用していただけたらと考えている。